

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL: <http://www.sairingi.com/>  
 携帯URL: <http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 令和元年度定時会員総会が開催される

令和元年度定時会員総会が令和元年6月13日(木)大宮ソニックシティ906号室にて開催された。本総会の審議内容は平成30年度事業報告、収支決算報告、監査報告、第48回埼玉県医学検査学会学会長選出および理事の欠員に伴う補欠選任、令和元・2年度監事の選任についてであった。総会は濱本隆明事務局次長の進行で神山清志会長のあいさつで始まり、続いて砂川進氏、原繁一氏、野本幸雄氏、前原光江氏の各名誉会員の紹介があった。

総会に先立ち各賞表彰式が行われ、平成30年度埼臨技特別功労賞が前埼臨技会長津田聡一郎氏に、埼臨技功労者賞が第46回埼玉県医学検査学会学会長鈴木英之氏に授与された。永年会員表彰は49名の会員が該当し、総会では6名が表彰された。

総会は議案審議に先立って長谷川隆氏(浦和医師会メディカルセンター)が議長に選出され、長谷川議長により総会役員が指名された。資格審査委員は長岡勇吾理事、東部地区から松内萌氏(越谷市立病院)、南部地区から急式政志氏(埼玉県立小児医療センター)、西部地区から鈴木翔子氏(東松山医師会病院)、北部地区から田中亜紀氏(熊谷総合病院)が任命され、資格審査委員長には委員の互選により長岡理事が選出された。また書記は石井千晴氏(越谷市立病院)と宮城遥氏(さいたま赤十字病院)が、議事録署名人には飯塚桂子氏(東武医学技術専門学校)と関口久男氏(埼玉県済生会栗橋病院)がそれぞれ任命された。



議長 長谷川隆氏

その後、長谷川議長は「18時30分現在の出席者数59名、委任状出席者数1,882名、議決権行使書数277名で、合計2,218名であり、本通常総会を構成する会員数は5月31日現在の会員数は3,118名



埼臨技特別功労賞



永年会員表彰





今回お話しいただいた講師の方々には県内の様々な施設で働かれている方で、施設ごとの特色や部署の異動があるなど、それぞれの環境でのスキルアップの手段として資格を取得されていました。資格に対する考え方も様々でとても参考になりました。

また、若手技師同士の交流の場もあり大変有意義な時間を過ごすことができました。

#### 医療法人 熊谷総合病院 深沢 敬亮



6月7日に開催された令和元年度第1回青年部研修会に参加し、資格を取得したきっかけや、取得した先の話など聴かせていただきました。

私は様々な検査を担当している一方、知識が追い付かずコンプレックスに感じることがありました。同じような思いから資格取得を目指し、業務の幅を広げていく先輩方の話を聴くことができ、よりスキルアップに対する意識が高まり、明確な目標を立てて段階を踏みながら励みたいと思うようになりました。

今回このような貴重な会を開いていただきありがとうございました。

#### 埼玉医科大学病院 野村 和弘



この度、第1回青年部研修会に参加させていただきました。テーマが「スキルアップでステップアップ」～資格取得からその先へ～、ということで若手技師やこれから資格・学位を取得するのを目指している方にとって、とても有意義な研修会でした。

今回、臨床検査技師にも様々な資格があることを知りました。また、その資格を取得していくに向かって、明確な目標を持つことで勉強に取り組みやすくなり、知識を得ることで検査にも自信がもてると聞いて自分も頑張りたいという気持ちになりました。また今年度、緊急検査技師の試験を受けるので試験の対策などとても勉強になりました。

研修会終了後の懇親会では違う病院の方や同年代の方とお話することができ、自分にとっていい刺激を得ることができました。

最後にはなりますが、この研修会に参加して得たことを生かして今後の日常業務に励んでいきたいと思えます。

本研修会の講師の先生方をはじめ、参加された臨床検査技師の皆様、ありがとうございました。



### 埼臨技事務所の夏季休暇について

令和元年8月13日(火)～16日(金)

上記期間は事務所が不在となりますので、  
ご承知おきください。

## 第68回 日本医学検査学会 International Young BLS forum に参加して

埼玉県立がんセンター

藤井 絢子

令和元年5月18日(土)～5月19日(日)山口県下関市にて開催された第68回日本医学検査学会において若手技師の国際対応力向上を目的としたプログラムである「International Young BLS forum」に参加した。日本、韓国、台湾の若手検査技師が集まり、人工知能(AI)と未来の検査技師の関わり方について、精度管理、ゲノム医療、遠隔医療をテーマに3チームに分かれて英語で議論、発表が行われた。私は精度管理チームの一員として参加することとなった。

この企画への参加が決まったのは開催から半年前だったが、準備に追われ、あっという間に本番の日を迎えた。はじめに、各国の精度管理の現状について情報を収集するため、聞きたいことをスライドにまとめ、事前に韓国、台湾メンバーに送った。当日議論を行う前に、このスライドを基にお互いプレゼンテーションを行い、各国の現状について理解を深めた。顔の見えない相手と英語のメールのみで連絡を取り合うことは予想以上に大変だった。他にも議論が円滑に進むよう、自分の意見を英語でまとめる、AIの情報を収集する、精度管理の英語文献を読むなど、前日まで用意は尽きることはなかった。不安を抱えたまま迎えた本番前日、韓国、台湾メンバーと交流する時間が設けられており、そこで本番議論しやすい雰囲気を築くことができた。各国のメンバーはとても優しく、ポケトークを駆使しながら話す私の拙い英語を一生懸命理解しようとしてくれた。

当日は90分という限られた時間のなかで、「精度管理の問題点の抽出」、「精度管理においてAIは有用か」、「AIが導入されたとき臨床検査技師の役割は何か」の3点を軸に議論を行い、最終プレゼンテーションを作成した。各国の精度管理における問題点やAIと未来の検査技師との関わり方についての考えは意外と似ていることがわかった。最後に3チームそれぞれ10分程度の最終プレゼンテーションが行われた。

この企画を通して、自分では気づかなかった視点をたくさん発見することができ、自分の視野を広くすることができた。最終プレゼンテーションは、光栄なことに精度管理チームがBest Presentation Awardに選出された。これは半年間の用意とチームワークの結果だと思っている。この結果もさることながら、この経験で得た知識と能力、韓国と台湾メンバーの方々と良好な関係を築けたことはかけがえのない財産となった。今は余韻に浸るばかりで将来のことは考えられないが、皆さんも機会があればこのような企画に参加されてみてはいかがでしょうか。



第47回埼玉県医学検査学会のお知らせ

## 演題・抄録締め切り延長しました!

開催日：令和元年12月1日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：「飛翔」

サブテーマ：－『進化』から『昇華』へ－



### 「演題・抄録について」

第47回埼玉県医学検査学会  
学術部 中山 智史

演題・抄録締め切り日：令和元年7月30日(火)

※締め切り日を延長しました。最終締め切りとなります。

梅雨も明け、気温が上がるとともに少しずつ夏の到来を感じるなかで、今年も酷暑にも負けない暑い学会（開催は冬期ですが）の準備が着々と進行中です。

私は学会の学術部を担当しています、防衛医科大学校病院の中山智史と申します。

埼玉県医学検査学会といえば、埼玉県臨床検査技師会に所属するみなさまにとっては、いわば“登竜門”のような存在になっているのではないかと思います。実は私もその登竜門を経験した一人で、第42回埼玉県医学検査学会の一般検査分野で発表したのが最初でした。抄録作成の際は、先輩や上司に助けをもらいながら準備を進め、いざ発表という時に、緊張で頭が真っ白になっていたことを今でも鮮明に覚えております。発表を終えてからは安堵と達成感で胸がいっぱいになり、臨床検査技師としての一步を踏み出せたのではないかと感じました。そして気が付けば、次の学会発表へ挑戦する目標を立てている自分がいました。埼玉県医学検査学会は、そのようなきっかけをくれる場ではないかと私は考えています。

さて、臨床検査技師として『飛翔』させてくれる学会の演題・抄録締め切り日を7月30日(火)まで延長することになりました。

学会で発表することを迷って、あと一步が踏み出せていない方はいませんか？年に1度しかない埼玉県医学検査学会を経験して、臨床検査技師として成長するきっかけを作りましょう。私達も皆様のご期待に応えられるよう全力で取り組ませていただきます。

皆様のご応募を心からお待ちしております。

## 求人案内

これまで掲載しておりました求人案内ですが、リアルタイムに会員の皆様に情報をお届けする観点から、2019年3月をもちまして埼臨技だよりへの掲載を終了することとなりました。

求人案内は、引き続き埼臨技ホームページ (<http://www.sairingi.com/recruit.html>) をご覧ください。



令和元年 第1回 検査室運営研修会のお知らせ

## コミュニケーションスキル!! はじめの一步はあいさつから!!

～ 話し方一つで、接し方一つで・・・あなたは変わる!! ～

検査室管理運営委員会では管理職のみならず、新人から各々の責任者まで検査室を運営する皆様を対象に研修会を企画しております。令和元年度 第1回 検査室運営研修会は、以前にも開催いたしました職場環境の中で最も重要とされるコミュニケーションスキルである“接遇”に関する研修会を下記のように、開催いたします。

講師には、平成27年度 第1回検査室運営研修会 医療従事者に必要な接遇スキル!! ～接遇から職場環境を見直しませんか? もっと、楽しく仕事をするために!! ～ のご講演をしていただき、会員より大好評を得た、埼玉医科大学病院 看護師長 接遇インストラクター 鎌北郁子先生を再度お招きし、研修会を開催する運びとなりました。

現在の医療機関は、患者から選ばれる存在になっています。そして、多くの競合先の中で勝ち残っていくためには、従来の医療・診療提供だけでは、選ぶ側の患者の満足を得られなくなっています。患者ニーズに応え、満足していただく接遇には、患者という存在の特性を理解することが必要となります。人と接することを得意としない臨床検査技師が、医療環境で働き続けるためには、患者様はもちろん、医師・看護師など医療従事者、事務部門、医療関係業者とのコミュニケーションは、必至です。

将来、検査室を背負っていく若手検査技師の皆様の参加はもちろんのこと、中堅技師から管理職の皆様にも研修会に参加していただき、良好な対人関係を構築するスキルを習得し職場環境の改善に役立てていただきたいと思います。

開催日時：令和元年9月10日（火） 19：00～20：30

開催場所：大宮ソニックシティ 906号室

講師：鎌北 郁子（埼玉医科大学病院 看護師長）

司会：藤井 豊善（蕨市立病院）

参加費：300円



## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ 確認して役立てよう！

主催 微生物検査研究班

実施日時：平成31年4月26日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講 演 1：2019年CLSIドキュメントの主な変更点

講 師：横山 翼（ベックマン・コールター株式会社）

講 演 2：平成30年度埼玉県・埼玉県医師会 臨床検査精度管理事業報告と解説

講 師：佐々木真一（株式会社ビー・エム・エル）

酒井 利育（自治医科大学附属さいたま医療センター）

川又 大右（戸田中央臨床検査研究所）

永野 栄子（獨協医科大学埼玉医療センター）

参加人数：会員38名 賛助会員6名

出席した研究班班員：渡辺典之 永野栄子 酒井利育 砂押克彦 牧俊一 今井英美 森圭介  
小棚雅寛 千葉明日香

#### 研修内容・感想など

本年度最初の研修会で、「確認して役立てよう！」を主題として、「2019年CLSIドキュメントの変更点」と「平成30年度埼玉県・埼玉県医師会臨床検査精度管理事業報告」の2つのテーマについて各講師に講演していただいた。

2019年CLSIドキュメントの主な変更点では、フルオロキノロン系薬のブレイクポイントが変更となり、*Enterobacteriaceae*と*P. aeruginosa*においてブレイクポイントが1～2管下がった。新ブレイクポイントでは、今まで感受性の判定だった結果が耐性と判定される可能性がある。薬剤耐性（AMR）対策アクションプランでは、2020年までに大腸菌のフルオロキノロン耐性率を25%以下にすると目標があるが、新たなブレイクポイントを採用した場合、目標達成は非常に困難と感じた。また、*S. aureus*におけるセフトロリンと*Enterococcus spp.*のダプトマイシンに新たにSDDが追加となった。さらに淋菌のアジスロマイシンの新規追加、各種薬剤の削除や*Staphylococcus spp.*のTable整理、カルバペネマーゼ産生CREの新規抗菌薬について解説された。CLSIドキュメントは毎年更新されているため、新しい知識を得て日々の検査に役立てることが重要と感じた。

精度管理事業報告と解説では、フォト（バーチャルスライド含む）、同定、薬剤感受性、グラム染色の結果と評価方法について説明していただいた。フォトは、全ての項目で評価Aが95%以上であった。バーチャルスライドは、昨年と同様に抗酸菌について出題であった。コード表を修正したため、昨年度に散見されたグラム染色の判定基準による回答はなく、正確な評価ができた。同定では、評価Aが97.5%以上と極めて良好な結果であり、測定方法や使用機器について解説していただいた。また薬剤感受性検査はディスク拡散法で測定している施設で評価Cが散見された。耐性菌の基準やディスク拡散法の判定方法、日々の精度管理について解説していただいた。グラム染色は、極めて良好な結果であった。

各設問において評価が悪かった施設は、問題点を見直し、改善していくことが重要である。

（文責：渡辺典之）

### テーマ 初心者必聴！ 日当直で困らないために 知っておきたい輸血検査と精度管理のあれこれ

主催 輸血検査研究班

実施日時：令和元年5月10日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科ー20点

講 演 1：平成30年度埼玉県・埼玉県医師会 臨床検査精度管理事業報告

講 師：宮川 勇（小川赤十字病院）

講演 2：日当直で困らないために知っておきたい輸血検査の知識

講師：渡邊 一儀（獨協医科大学埼玉医療センター）

参加人数：会員97名 賛助会員2名

出席した研究班班員：渡邊一儀 長谷川卓也 久保居由紀子 野呂光恵 小林真弓 宮澤翔子  
小原佑太 山田攻

研修内容・感想など

新元号となる最初の講演会は2演題－輸血業務の基礎となる精度管理の報告と、新しく輸血検査業務に従事した技師向けに日当直輸血業務を解説－を行った。

宮川氏の講演は医師会精度管理の報告データについて詳細な解析を行ったものである。今年度は不規則抗体検査の成績が良好であった。しかし今年度から解答形式の記入負担を軽減する変更をしたにも関わらず、依然としてRh血液型検査では回答未記入やリスト外からの記入が多かった。またペーパー法等手技・検査法に起因する凝集の強さの見落としがみられたのは残念であった。

2演題目の渡邊氏の講演は、実際の日当直の場面を再現した環境下で起きうる様々な事象を、参加者と一緒で考察していく画期的な講演であった。参加者が架空の検査室で業務をしている仮定で検体提出から最終的に輸血剤剤の選択に至るまでいくつかの質問に回答していく形式で講演が進行した。特に参加者はスマートフォンからあらかじめ配布されたQRコードを読み取ることで講演中の質問に参加できて、自分の回答が全体としてはどのくらいの比率で選択されたかを瞬時に確認することができた。講演の進行も楽しく、スライドの質問に対して周囲の技師どうしてディスカッションする光景も会場内でいくつも確認できた。

（文責：山田攻）

## テーマ 寄生虫検査の重要性と実践法

主催 公衆衛生・一般検査研究班

実施日時：令和元年5月10日 19時00分～20時45分

会場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科－20点

講師：山本 徳栄（元埼玉県衛生研究所）

参加人数：会員75名 賛助会員1名 学生1名

出席した研究班班員：

公衆衛生：穴原賢治 富井貴之 鈴木勤 立塚梓 鈴木智子 吉田翔平 菊地孝司

一般：小関紀之 藤村和夫 柿沼智史 白石将也 佐々木菜緒

研修内容・感想など

今回は寄生虫検査について、元埼玉県衛生研究所の山本氏にご講演いただいた。山本氏は衛生研究所において寄生虫検査に長年従事されていたため、この分野では大変ご高名な方である。講演は、前半に寄生虫検査法について、後半は二級臨床検査士試験に向けた試験対策として、過去問題の解説であった。

WHOがNeglected Tropical Diseases（顧みられない熱帯病）と指定した17疾患はほとんどが寄生虫に関する疾患である。わが国では、アニサキス症やアメーバ性腸炎をはじめとする寄生虫症が増加傾向にあり、長期間の下痢が続く患者には、原虫類の感染を疑い、適切な検査を実施することが望まれることから、寄生虫検査の重要性を強調された。検体からのスライド標本作製や鏡検での注意点等も図を用いて大変わかりやすく解説していただいた。寄生虫の遺伝子検査を実施する際の注意点として、ホルマリンを含む標本はDNAが断片化してしまうため、ホルマリンは用いない点が挙げられた。

後半の試験対策の解説ではやや時間が足りなくなるほど、熱心にご講演いただいた。寄生虫の動画をはじめ、多くの貴重な画像の紹介があり、参加者にとって満足度の高い充実した内容の研修会となった。

（文責：菊地孝司）



**テーマ 生理機能初心者向け研修会「心電図を学ぼう」**

主催 生理検査研究班

実施日時：令和元年 5月11日 14時30分～17時40分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 南館 2階講堂

点数：専門教科－20点

講 演 1：初心者向け心電図の基礎

講 師：園部 由香（春日部市立医療センター）

講 演 2：クイズ 心電図波形

講 師：早川 勇樹（自治医科大学附属さいたま医療センター）

参加人数：会員72名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧澤義教 家城正和 高梨淳子 田名見里恵  
武藤由里子 園部由香 横尾愛**研修内容・感想など**

今回は初心者向けの心電図研修会を行った。講演1では心電図の基礎として正常から異常波形までを講演していただいた。心電図は現在機器での解析が普及しており、自分達で心電図の波形や結果について考えなくてもよくなってきているが、検査技師も心電図をしっかり確認しなければならない。異常波形を逃さないことも大切だが、正常波形がしっかり分かっているなければ異常を見つけることは出来ない。今回改めて正常波形から異常波形を幅広く学習できる機会になった。

講演2では心電図波形のクイズを実施し、今回生理検査研究班では初めてクエスタントを使ってリアルタイムに解答、解析を行った。今回の勉強会の参加者は心電図に携わってからまだ半年以内の技師が多く、心電図解答には様々な解答が見受けられた。

どちらも初心者向けの講義だったが、改めて心電図の基礎を勉強する機会となった。

(文責：武藤由里子)

**テーマ 肝線維化マーカーについて学びましょう****肝線維化マーカーの最新動向 - 新規マーカー オートタキシンの有用性 -**

主催 血清検査研究班

実施日時：令和元年 5月22日 19時00分～20時20分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科－20点

講 師：五十嵐 浩二（東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部）

参加人数：会員32名 賛助会員6名 申請中1名

出席した研究班班員：庄司和春 多川裕介 岩崎篤史 田中亜紀 中別府奈穂子

**研修内容・感想など**

今回は「肝線維化マーカーについて学びましょう」というテーマで、五十嵐氏に、肝線維化マーカーの最新動向について、2018年6月1日に保険適用になったオートタキシンの有用性についてご講演いただいた。

はじめに、オートタキシンの生理活性、代謝産物、臨床検査としての特徴や測定法の紹介の話があった。その中で、悪性リンパ腫や妊娠で高値を示すことがわかっており、特に妊娠時には週数が上がるに従って数値は上昇するという事だった。臨床検査の特徴として、原因は不明であるが健常者の濃度において性差がみられ、女性が3～4割高いという話であった。

慢性肝炎の治療目標として肝硬変、肝癌の抑制が重要であり、それには肝線維化の進行度を早期に正確に診断することがあげられる。オートタキシンは軽度線維化進展例ほど判定能が高い傾向を示し、また非常に安定した酵素であり低温保存や特殊な採血方法を必要としないことから、測定値の信頼性が高いという内容だった。

今回の講習会は、基礎的な内容も含め、オートタキシンをはじめ様々な肝線維化マーカーについて幅広く講義していただき、非常に興味深く有意義な内容であった。

(文責：中別府奈穂子)

## テーマ 基礎からはじめる微生物検査

主催 微生物検査研究班

実施日時：令和元年 5月31日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科－20点

講 師：霜島 正浩（株式会社ビー・エム・エル総合研究所）

参加人数：会員73名 賛助会員7名

出席した研究班班員：砂押克彦 永野栄子 牧俊一 酒井利育 森圭介 小棚雅寛 千葉明日香  
今井芙美 酒井利育

### 研修内容・感想など

今回は霜島氏に、微生物検査の実施時のポイントや注意点など基礎を中心にご講演いただいた。

日本ではCLSIドキュメントの判定基準を用いていることや、CLSI M100が無料閲覧できることが紹介され、続いて微生物検査のタイムスケジュールに沿って鏡検、培養、同定・薬剤感受性検査について話があった。

鏡検検査は、患者の状態を反映し、短時間で結果報告ができ菌種推定が可能な場合があること、培養検査は、鏡検検査よりも感度ははるかに高く、選択分離培地を用いることで目的とする菌を効率的に検出することができること、同定検査は、自動機器、簡易同定キット、性状確認培地を用いる生化学的性状検査や、新しい技術を用いた質量分析について解説があった。また薬剤感受性検査はディスク拡散法と微量液体希釈法、耐性菌の鑑別法や耐性菌の動向について解説された。

講演の中で霜島氏が、微生物検査は検体採取から始まっており、適切な検体採取ができないと臨床症状を反映した検査結果が出ないことを強調されており、今回学んだことを活かして日常検査に取り組みたい。（文責：酒井利育）

## テーマ 生理検査研究班 CD-ROMサーベイ2018報告会

主催 生理検査研究班

実施日時：令和元年 6月1日 13時30分～16時40分

会 場：鴻巣市市民活動センター 会議室B 点数：専門教科－20点

報 告 1：心電図

報 告 2：呼吸機能

報 告 3：脳波・神経伝導

報 告 4：心臓超音波

報 告 5：乳腺超音波

報 告 6：血管超音波

報 告 7：腹部超音波

報 告 8：アンケート

参加人数：会員22名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧澤義教 家城正和 野本隆之 高梨淳子  
田名見里恵 武藤由里子 園部由香 横尾愛

### 研修内容・感想など

今回のCD-ROMサーベイ報告会は、正答率の高い設問も多かった一方で、難問も少なくなかったため、参加者は熱心に解説を聴講している様子やセッションごとに個別質問される方も見受けられ、サーベイの解答に対して積極的に理解しようとする姿勢がうかがえた。

解説内容も新たな情報を交えたものや、サーベイの問題の不適切な部分の訂正を伝えながらの報告となった。動画再生の様々な方法についても担当より解説がなされ、今後のCD-ROMサーベイ動画閲覧時に活用していただきたい。

参加者からの意見では、初めて参加したがとても勉強になった、初めての参加だったが内容が難しいところは直接聞いて分かりやすく解説してもらえて良かった、等があった。

またサーベイと一緒に実施したアンケートでは、心電図と腹部超音波のチャレンジ問題が難しかった、レベルの底上げにはいい問題だった、毎回回答するのが楽しみ等、生理検査研究班員にとっては大変嬉しい内容が多く見受けられ、問題作成の参考となった。今回のCD-ROMサーベイが参加された皆様にとって今後の業務の一助となれば幸いである。

（文責：横尾愛）

令和元年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第3回 理事会議事録

日 時：令和元年6月12日(水) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所  
さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事) 神山 岡田 矢作 松岡 小山  
濱本 奈良 長岡 小島 神嶋  
菊池 長澤 濱田 伊藤 石井  
神戸 山口 阿部

(監事) 遠藤

欠 席：(理事) 猪浦 鳥山 笹野  
(監事) 細谷

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数21名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

#### Ⅰ. 行動報告 (令和元年5月9日～令和元年6月11日)

- 5月9日(木) 令和元年度第2回理事会：  
神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、長澤、濱田、伊藤、笹野、石井、神戸、山口、鳥山、猪浦、阿部、遠藤、細谷
- 5月9日(木) 第1回事業部会：  
長澤、濱田、伊藤、笹野
- 5月9日(木) 第1回事務局部会：  
神山、矢作、小山、濱本
- 5月15日(水) 検査室運営委員会第1回会議：  
濱田、笹野、菊池
- 5月16日(木)・17日(金) 日韓交流記念式典：  
神山
- 5月17日(金) 埼臨技だより 第481号編集会議 (メール会議)：  
奈良、長岡、小島、神嶋、菊池
- 5月18日(土)・19日(日) 第68回日本医学検査学会：  
神山、岡田、松岡、神戸、神嶋、濱田
- 5月21日(火) 理事・研究班合同会議：  
神山、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、長澤、濱田、石井、神戸、山口、鳥山、猪浦、阿部
- 5月24日(金) 第47回埼玉県医学検査学会第7回実行委員会：奈良、菊池
- 5月25日(土) 埼玉県立大学創立20周年記念式

典・記念講演：矢作

- 5月26日(日) 日臨技臨床化学・免疫精度保証技師制度審議会：神山
- 5月29日(水) 人間総合科学大学講義：神山
- 6月5日(水) 法務局登記相談：小山、濱本
- 6月7日(金) 青年部第1回研修会：  
奈良、神嶋、濱本、神戸
- 6月8日(土) 日臨技認定センター協議会：神山

#### Ⅱ. 報告事項

##### 1 事務局

- 1) 日臨技よりJAMTQC操作説明会の開催の案内が届いた。
- 2) 第17回生物試料分析科学会関東支部より学術集会の案内が届いた。
- 3) リレー・フォー・ジャパン2019の後援依頼が届き、受諾の回答をした。
- 4) 日臨技より令和元年度定時総会の成立に関する協力依頼があった。
- 5) 5月9日(木) 第1回事務局部会を開催した。
- 6) 5月25日(土) 埼玉県立大学創立20周年記念式典・記念講演に矢作副会長が出席した。
- 7) 6月5日(水) 法務局に役員変更登記について申請書類確認等の事前相談を行った。

##### 2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第481号、6月15日発行予定
- 2) 令和元年度 会員名簿発行について
- 3) 5月17日(金) 埼臨技だより 第481号編集会議(メール会議)を行った。

##### 3 事業部

- 1) 5月9日(木) 第1回事業部会を開催した。
- 2) 5月15日(水) 検査室運営委員会第1回会議を開催した。

##### 4 学術部

- 1) 5月21日(火) さいたま赤十字病院2F多目的ホールで、理事・研究班合同会議を開催した。
- 2) 埼臨技だより6月号に8月・9月分の生涯教育プログラムを同封予定。

##### 5 精度保証部

特になし

##### 6 会計部

- 1) 令和元年度正会員費81名405,000円、入金金53名分53,000円 合計458,000円の入金があった。
- 2) 日臨技より生涯教育推進研修会助成金50,000円×3、合計150,000円の入金があった。
- 3) 株式会社メテオより2019年度文献許諾使用料として5,257円の入金があった。
- 4) 株式会社サンメディアより複製等の使用許諾料 3,240円(20件)の入金があった。
- 5) 株式会社石井印刷に埼臨技だより第480号印刷代55,296円、封筒印刷代13,824円、合

計69,120円を支払った

- 6) 令和元年会費 6名分の返金をした。
- 7) 会員の死亡に伴い会費5,000円を返金した。また、慶弔規程に則り、弔慰金をご家族に供えた。
- 7 精度管理委員会
  - 1) 第1回会議を7月4日県民健康センターにて開催予定。
- 8 一都八県会長会議  
特になし
- 9 日臨技関甲信支部  
特になし
- 10 日臨技  
特になし
- 11 第47回埼玉県医学検査学会
  - 1) 5月24日(金)第47回埼玉県医学検査学会第7回実行委員会が開催された。

あった。審議の結果、学会実行委員3名に権限を追加することが承認された。

- 3 事業部  
特になし
- 4 学術部  
特になし
- 5 精度保証部  
特になし
- 6 会計部  
特になし
- 7 精度管理委員会  
特になし
- 8 第47回埼玉県医学検査学会
  - 1) 市民参加型講座で使用する機器借用願書の認可について  
奈良総務部長より、資料説明があった。審議の結果、承認された。
  - 2) RCPC初級編、青年部依頼について  
奈良総務部長より、説明があった。審議の結果、学会長より埼臨技神山会長へ依頼状を提出することで承認された。

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和元年度分)  
令和元年6月1日現在  
会員数 3,118名[平成30年度会員数3,027名]  
(新入会員 201名)  
賛助会員 63社[平成30年度 82社]  
承認された。

- 2) 事務所夏季休暇について  
上記の件について小山事務局長より発言があった。審議の結果、8月13日から16日までの期間、夏季休暇とすることで承認された。

2 総務部

- 1) 令和元年度 会員名簿見積について  
上記の件について長岡理事より資料説明があった。審議の結果、承認された。
- 2) 第47回埼玉県医学検査学会よりJAMTIS学術権限の追加について  
上記の件について菊池理事より発言が

IV. 議題

- 総務部  
特になし
- 事務局  
特になし
- 事業部  
特になし
- 学術部  
特になし
- 精度保証部  
特になし
- 会計部  
特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

# あ と が き

落ち込みがちな梅雨の時期あじさいの美しい花に癒される日々ですが、実はあじさいの原産地は日本で、かのシーボルトがヨーロッパに紹介したとされています。手まり咲きのあじさいはヨーロッパで品種改良されたものだそうですが、あじさいの原産地が日本と知ってちょっとうれしい気がします。雨が降っていると家の中で過ごすことも多いですが、たまにはあじさい見物に出かけてみませんか？

(神嶋 記)

